Brimload T3 | 2026年10月19日

0 概要

Brimloadは、Windows PCで動作するアプリです。荷主がコンテナへの貨物の積付けを計画するのを支援し、スペースの利用率を高め、計算にかかる時間を節約します。

このソフトウェアは主に企業のお客様に向けて、積付けと出荷スケジュールのルールをカスタマイズして提供しています。この標準版ではカスタマイズした機能を除き、基本機能だけのシンプルな画面にしています。その基本機能とは、与えられたコンテナのスペースに、どの品目をどれだけの数量の組み合わせで、どのように積めるかという問いに答えることです。

この問いは、たとえば購買担当者（調達）が貨物をFCL（コンテナ1本単位の貨物）に収めるよう注文を微調整するとき、物流業者が見積もりのために必要なコンテナの本数を求めるとき、製造業者が容積積載率の目標に沿って継続的に受注を満たす出荷を計画するときに生じます。

このソフトウェアには64ビット版のWindowsが必要です。

このソフトウェアはインターネット接続を必要としません。

更新の自動確認も行いません。更新はhttps://brimload.com/ja/t3/で確認してください。

このダウンロードは、64ビット版WindowsのPC用のT3 v261027体験版パッケージです。体験版の期間は、お使いのコンピューターで初めて起動したときから始まります。ウェブサイトからのダウンロードは30日間、登録制のダウンロードは180日間で、いずれも最長で2027年11月26日までです。期間が終了すると、起動時にプログラムがその旨を表示します。

v261019以降、リリースには新しい英語名Brimload（旧称SmartPacker）を使っています。プログラムはBrimloadT3.exeで、ウィンドウのタイトルとメッセージにもBrimloadと表示されます。英語版のBrimload T3で保存した出荷ファイルではないファイルを開こうとすると、終了せずにその旨を表示するようになりました。

カートンを手動で並べる（選択、移動、回転、追加、充填する）には、別のエディションのBrimload T3 · Interactive Carton Editingを使ってください。こちらもhttps://brimload.com/ja/t3/にあります。

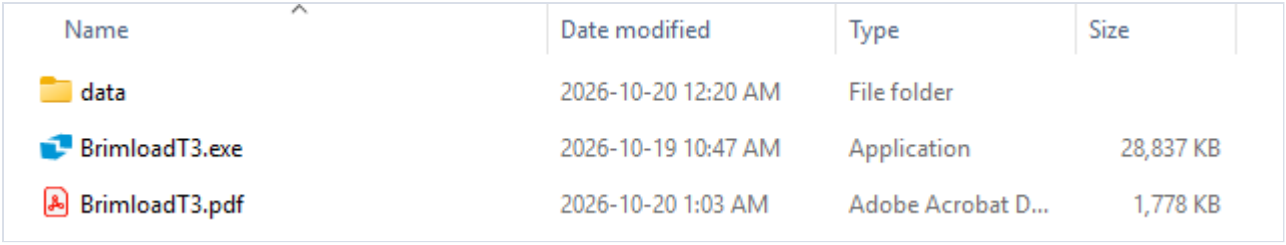
保存した出荷ファイルを開けるのは、現在のところ同じエディションの中だけです。英語版のBrimload T3は、自身で保存した出荷ファイルを開けます。SmartPacker T3で保存したものも含みます。中国語版（智火装箱T3）やBrimload U3で保存したファイル、その他のブックは開けず、その旨を表示します。新しいバージョンで保存したファイルは、古いバージョンでは開けないことがあります。

このソフトウェアは、北京とウィニペグにオフィスを置くソフトウェア会社、Zhihuoが提供しています。

ご質問やご意見は、zhzx@zhihuo.comまでメールでお寄せください。

1 ソフトウェアパッケージ

ダウンロードしたパッケージはzip形式です。解凍すると、フォルダーに次のファイルがあります。



Name	Date modified	Type	Size
data	2026-10-20 12:20 AM	File folder	
BrimloadT3.exe	2026-10-19 10:47 AM	Application	28,837 KB
BrimloadT3.pdf	2026-10-20 1:03 AM	Adobe Acrobat D...	1,778 KB

- BrimloadT3.exeは実行ファイルです。ダブルクリックするとソフトウェアが起動します。インストールは不要です。
- BrimloadT3.pdfはユーザーマニュアルです。
- ソフトウェアパッケージには、個別の.dllや.bplのサポートファイルは含まれなくなりました。解凍後は、ZIPパッケージのファイルとフォルダーをまとめて置いておいてください。
- data\t3サブフォルダーには、サンプルの品目とコンテナの寸法を入れたExcelファイル、masterdata.xlsxがあります。
- ソフトウェアは、計算で生成したキャッシュファイルを保存するために、tmpサブフォルダーを作成します。
- 不要になったら、フォルダーを削除するだけです。アンインストールは不要です。

Replay/Recovery（再生／復旧）のログバンドル

Brimloadは、tmpフォルダーの下にセッションのログバンドルを作成します（例：`tmp\t3_20260619_101500.zip`）。バンドルは、異常終了からの復旧、再生、サポートでの問題の再現に使われます。

バンドルには、manifest.json、replay_log.txt、debug.log、setting.json、マスターデータ・注文・出荷ファイルなどの入力ファイルのコピー、セッション中に保存した出力ファイルのコピー、任意で画面のスクリーンショット、表示環境の情報、Brimloadのアカウントとビルドのバージョンが含まれることがあります。画面のスクリーンショットはBrimloadのウィンドウから取得され、Windowsのデスクトップ全体からではありません。

Brimloadがこれらのファイルを自動でアップロードすることはありません。問題を報告したいときは、まずバンドルの中身を確認し、内容の共有に同意できる場合はZhiHuoと共有してください。tmpにある古いバンドルは、ご自分で移動、保管、削除してかまいません。バンドル内のファイルを編集または削除すると、再生や復旧ができなくなることがあります。

Replay/Recoveryは、このリリースではベータ機能です。ベータ版の復旧バンドルが、今後のBrimloadのバージョンでも復旧できるとは限りません。Brimloadがバンドルを確認専用または未対応と表示した場合は、確認済みの復旧した積付けプランとして扱わず、バンドルを変更せずにZhiHuoのサポートと共有してください。Recoveryで復旧した積付けプランを開いたときは、内容を確認し、Save As（名前を付けて保存）で復旧したコピーを保存してください。

data\t3\masterdata.xlsxファイルを開きます。

- 「貨物Cargo」シートは品目用です。寸法をお使いの貨物の寸法に変更するとよいでしょう。

	A	B	C	D	E	F
1	名	长	宽	高	重	上
2	A	1200	1000	500		NO
3	B	1100	1100	700		NO
4	C	800	600	500		NO
5	D	600	500	400		NO
6	E	500	400	300		NO
7	F	1000	800	700		NO
8	G	900	500	300		NO
9	H	1500	700	500		NO
10	I	2000	1500	500		NO
11	J	750	500	400		NO
12						

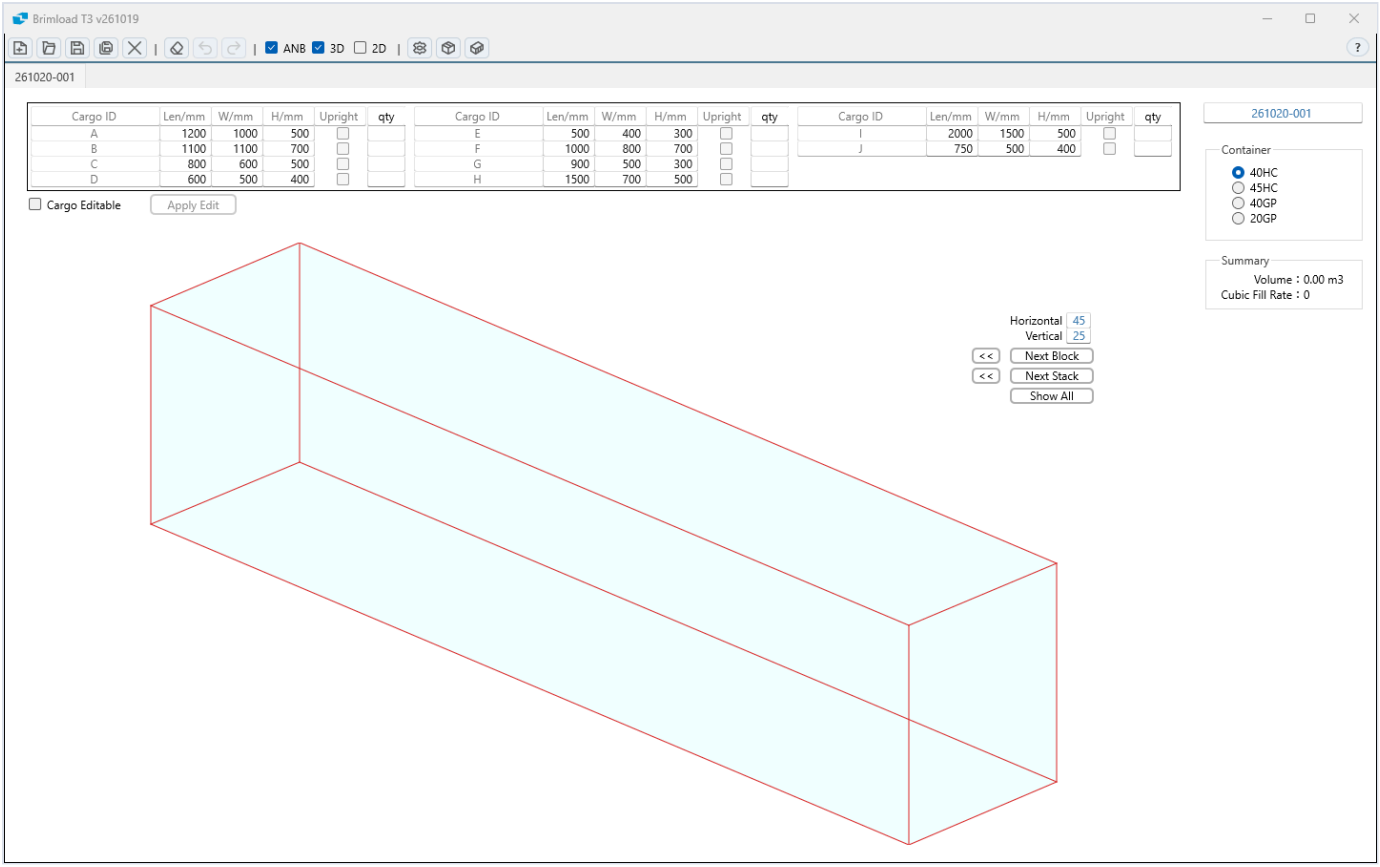
- 「集装箱Container」シートはコンテナの内側の積載スペース用です。ただし、長さ・幅・高さに制限のあるトラックの積載スペースや、カートンの中のスペースの計算にも使えます。

	A	B	C	D	E
1	型号 Model	内长InnerLength/mm	内宽InnerWidth/mm	内高InnerHeight/mm	CargoWeight
2	40HC	11850	2320	2670	30000
3	45HC	13350	2320	2670	30000
4	40GP	11850	2320	2320	30000
5	20GP	5660	2320	2320	30000
6					

アプリは起動時にこれらのシートを読み込みます。

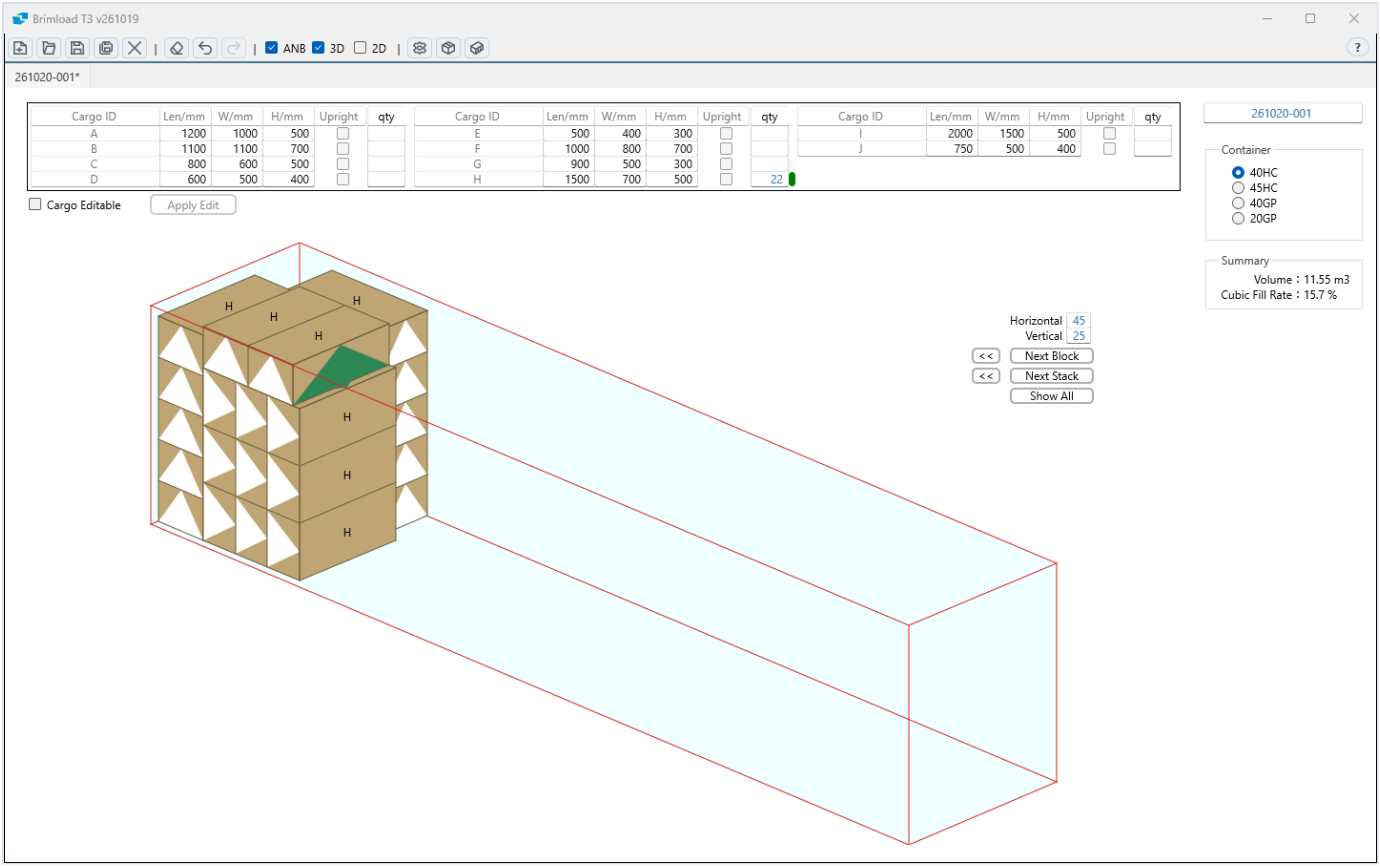
2 積む品目と数量の組み合わせを検討する

アプリを起動すると、次の画面が表示されます



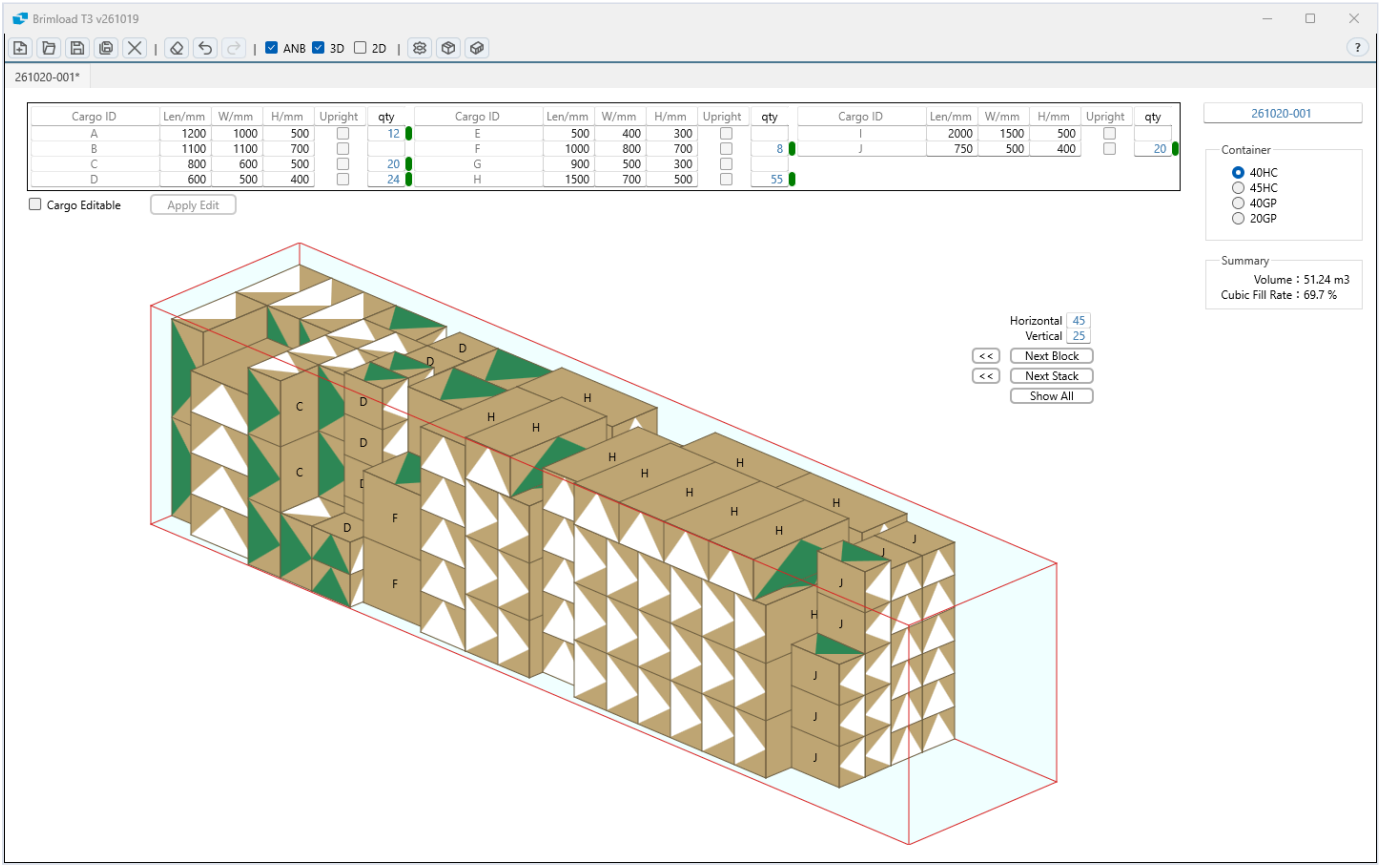
- 品目の寸法と数量を入力するパネル。ここでは数量パネルと呼びます
- コンテナのスペースと貨物の積付けの図
- ツールバーにはファイル、クリア、表示、設定の操作があり、横のコントロールではコンテナを選び、積付けの集計データを表示します。

まず、品目の数量の数値ボックスにマウスカーソルを合わせ、ホイールを回して数値を増減すると、それに応じて計算された積付けプランが表示されます。下の図では、品目Hの数量を22に変更しています。



カーソルを動かしてほかの品目の数量もホイールで増やすと、積付けプランが変わっていく様子がわかります。ただし、貨物が増えるにつれて、アプリの反応が遅くなることに気付くでしょう。

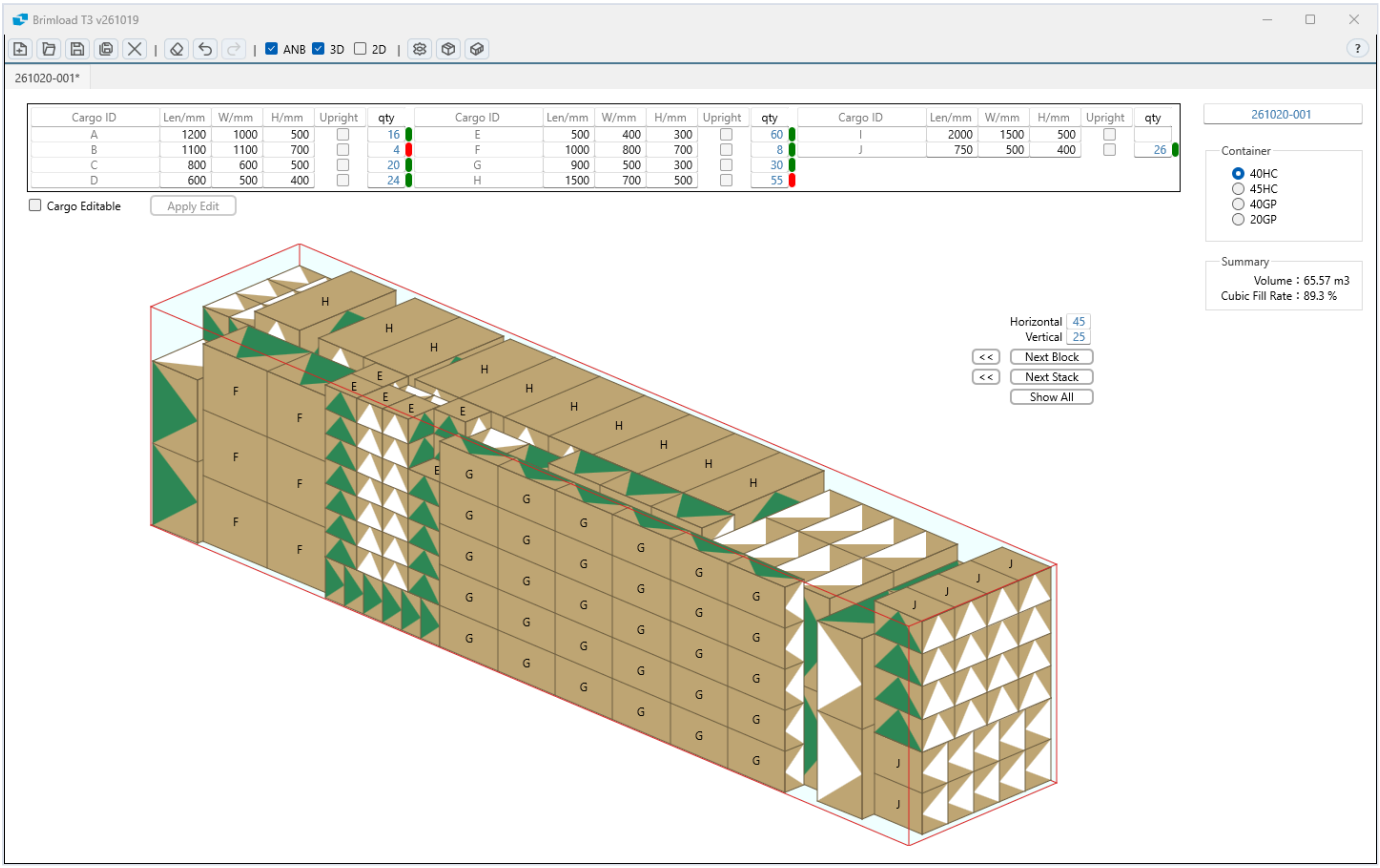
その場合は、数値ボックスを選んで数量（例：55）を直接入力し、「Enter」キーを押します。そうすれば、アプリは1から54までの数量の積付けプランを計算する必要がなく、55のプランを直接計算して表示します。



数量が0でない6つの数値ボックスの横には緑の信号（ランプ）が表示され、その数量をまだ増やせることを示しています。

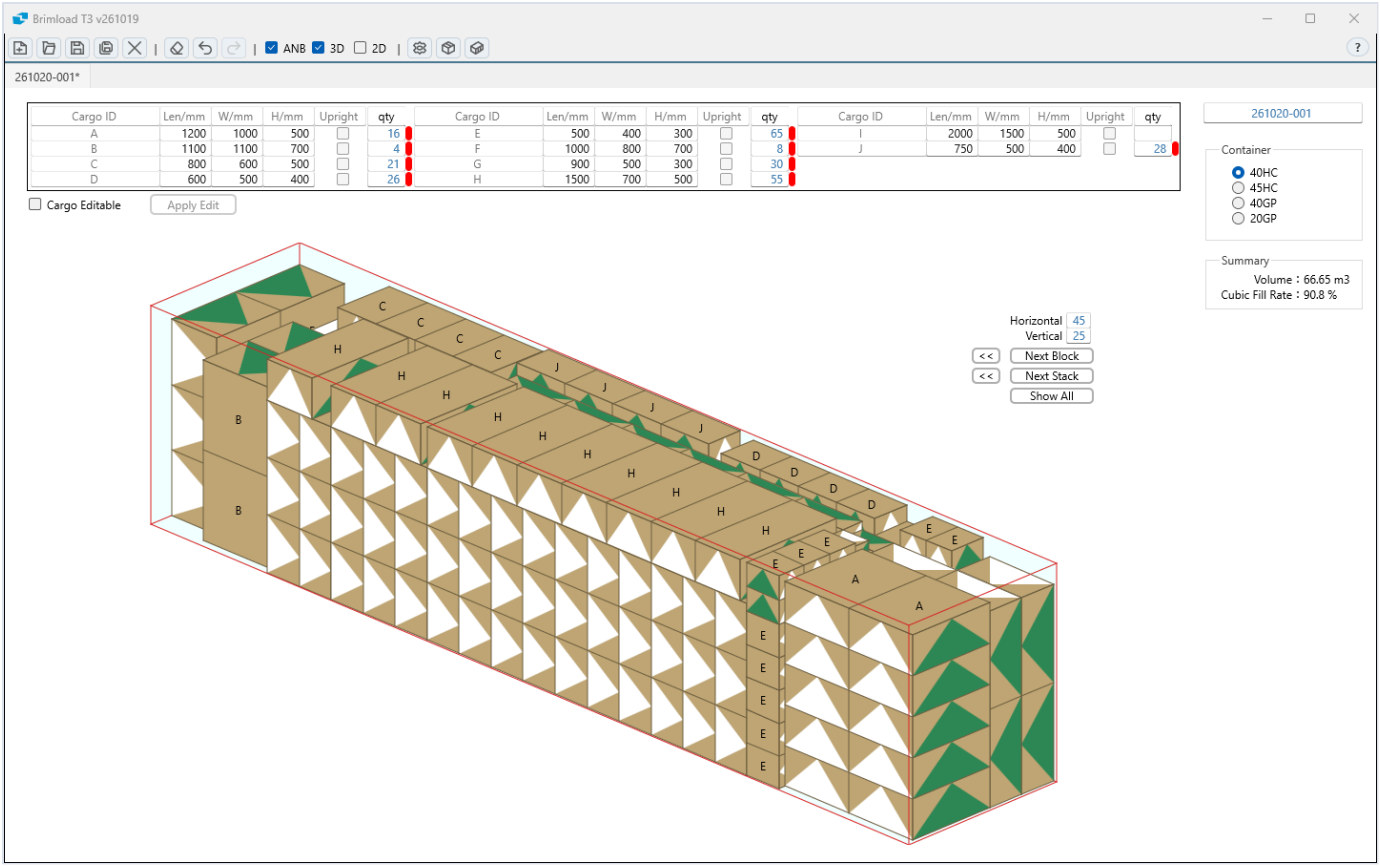
さらに数量を増やしていくと、一部が赤に変わります。

現在のバージョンは同じ品目どうしの段積みにしか対応していないため、赤になった品目Bを、まだ緑の品目Gの上に置くことはありません。（ご要望があることは承知しており、対応を進めています。）

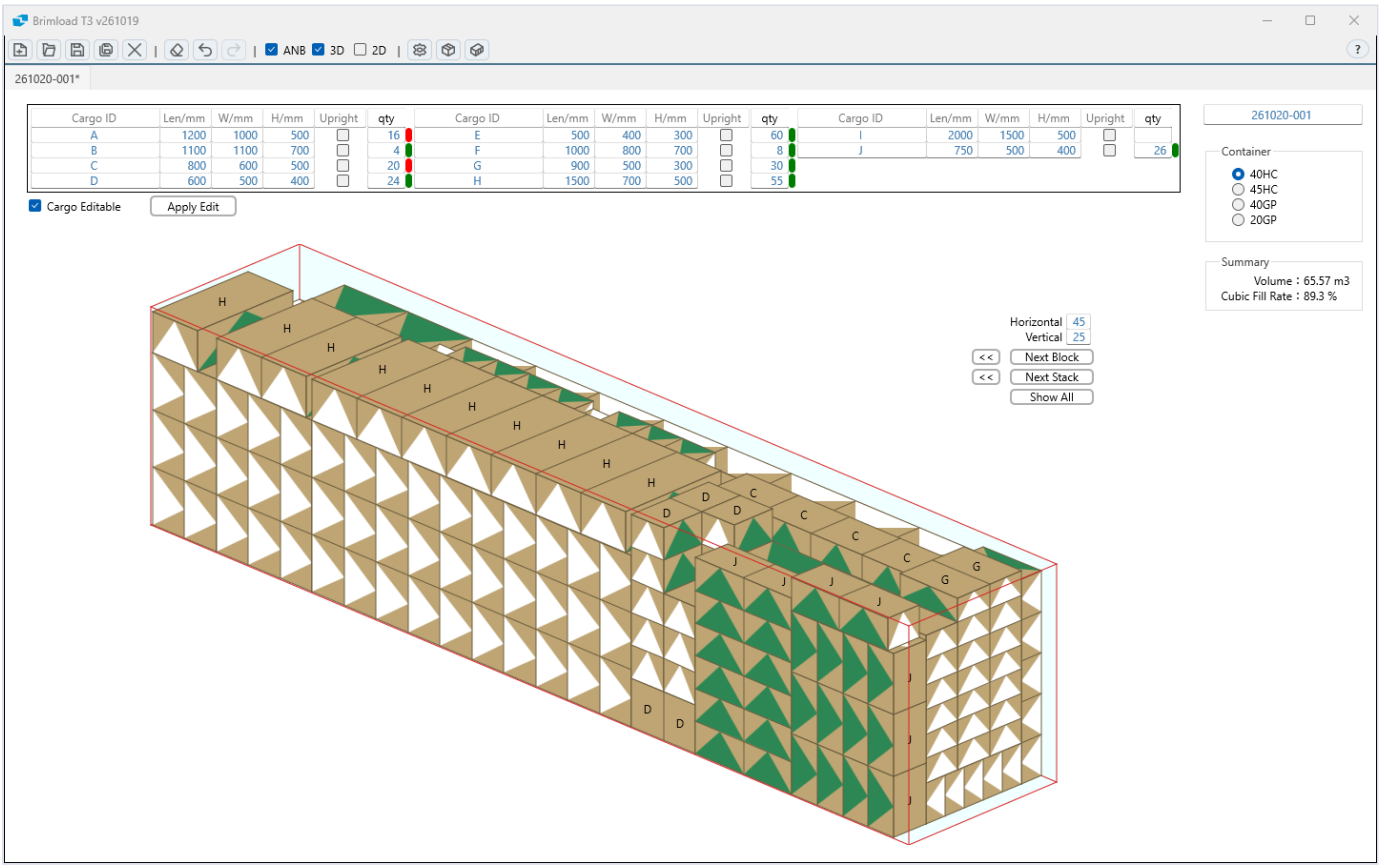


その後は、緑の信号に従って、すべてが赤になるまで数量を増やせます。

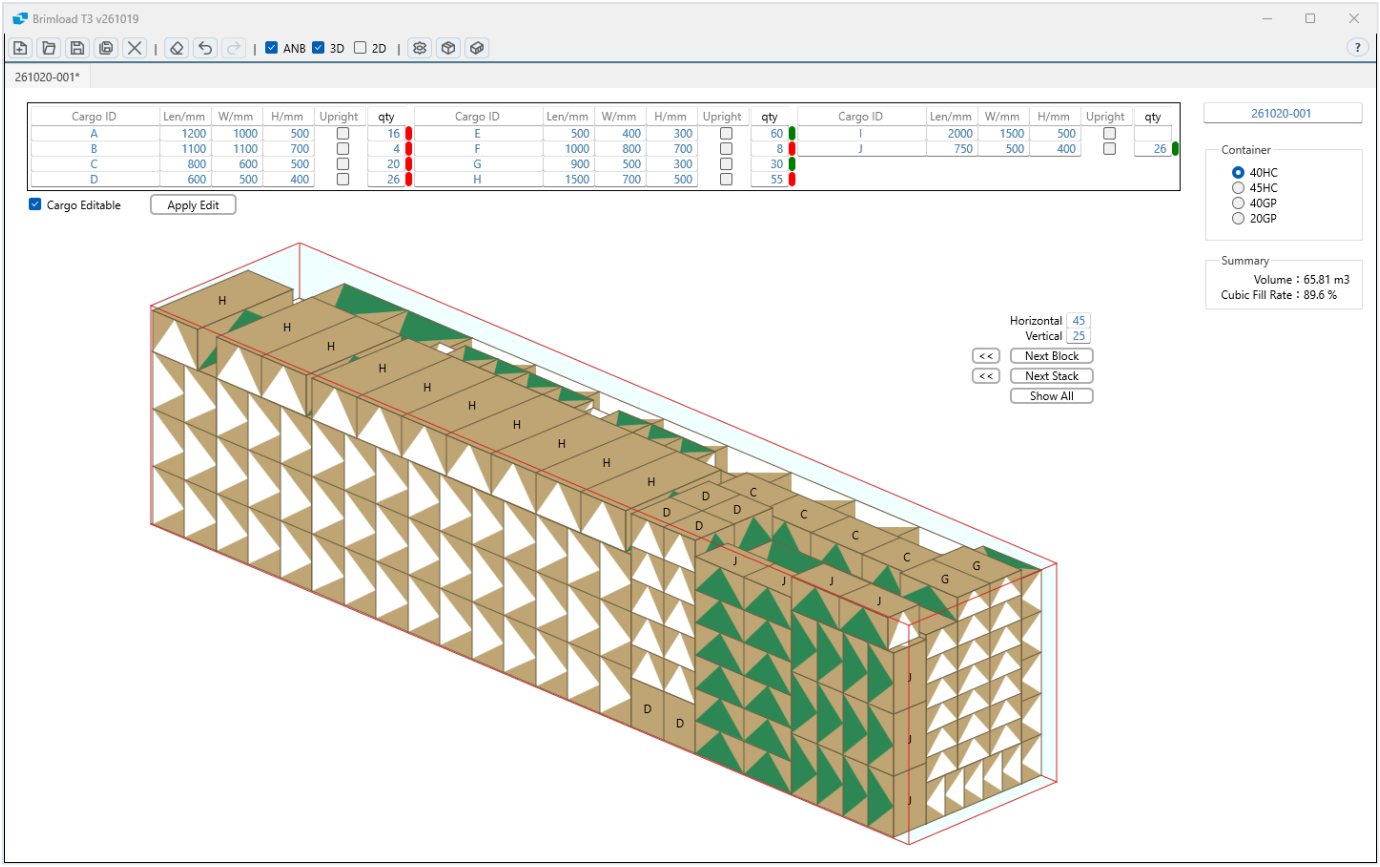
これで、積付けの集計パネルの容積積載率が90.8%になりました。



品目Dをどうしてもあと数個積みたいとします。Dは現在、立てて置く（横倒し不可）設定になっています。しかし、箱を横に倒しても大丈夫だと考えたので、「Cargo Editable」（品目を編集可能）にチェックを入れ、チェックボックスをクリックしてその制約を外すと、うれしいことにDの信号が緑に変わります。

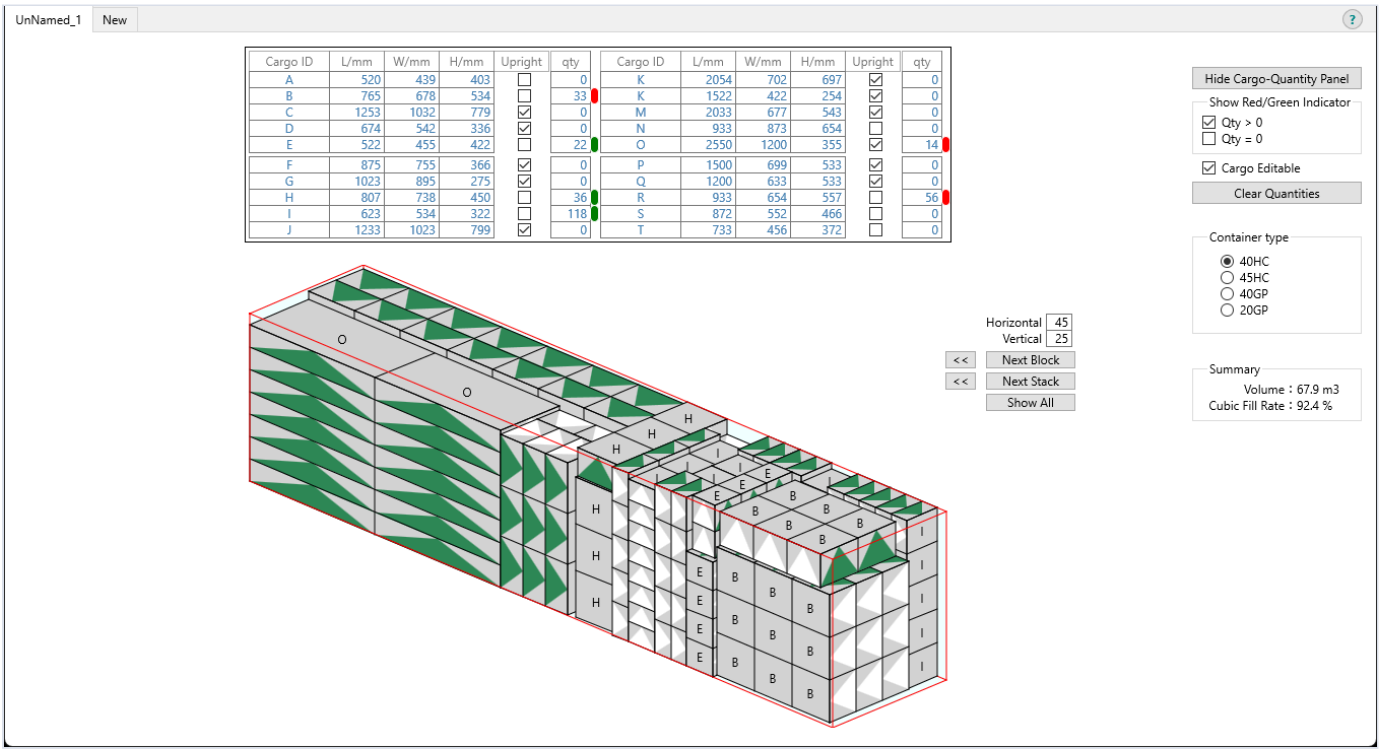


そして、品目Dの数量を2つ増やせました。



もう1つ、What-If 分析（試算）として確かめたいことがあるかもしれません。品目Bは柔らかい緩衝材で包まれたもので、少し空気を抜いて押し縮めても問題ないと上司は考えています。この案は、寸法を小さくして試せます。たとえば、長さ・幅・高さをそれぞれ20 mm減らします。

実際に寸法を変えてみると、品目Bはなかなか利他的で、自分は赤のままですが、E、H、Iを緑に変えてさらに積めるようにしてくれました。

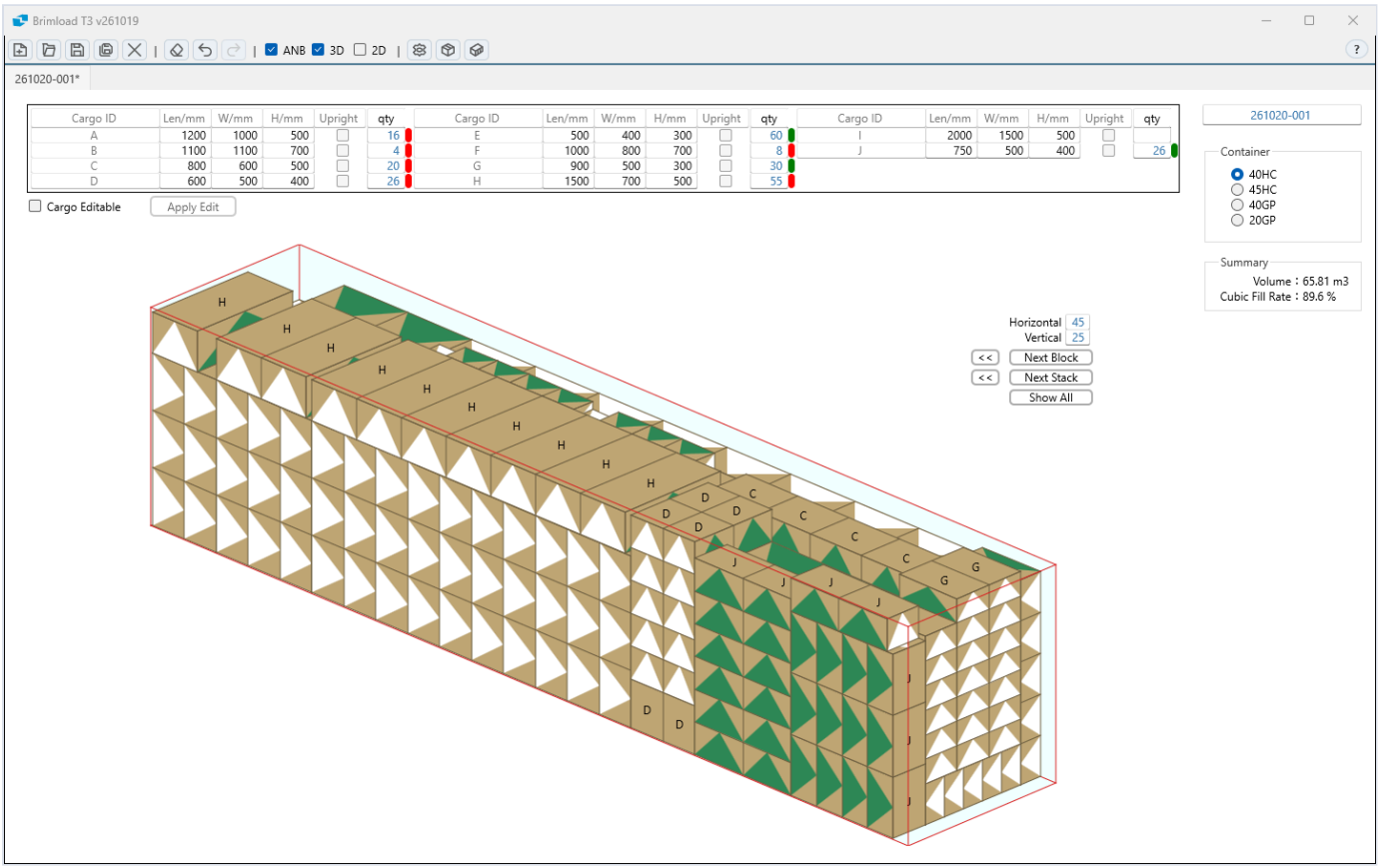


品目の寸法の変更は、この積付けプランだけに適用されます。「Use Master」（マスターデータを使用）で元に戻り、「Update Master」（マスターデータを更新）でマスターデータにコピーされます。マスターデータは、終了時にアプリがdata\t3\masterdata.xlsxへの保存を提案します。

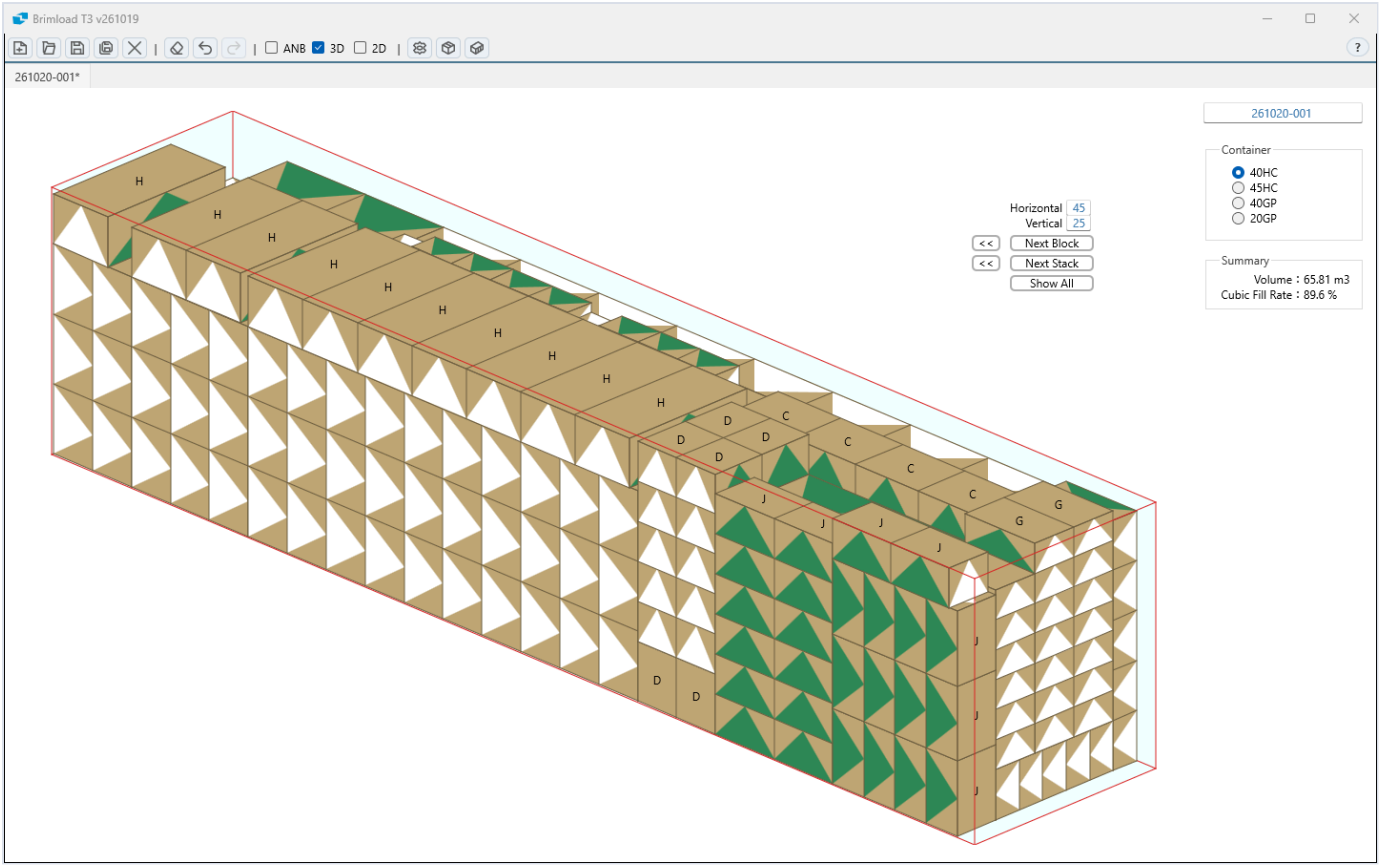
このページで寸法を変えた品目は、**Use Master**の後で名前を変更できます。保存したプランにだけあり、マスターデータにない品目は、このページでは名前を変更できません。

カーソルを動かしてマウスホイールを回すだけで品目を変更できるのは便利ですが、意図しない編集が起きるおそれもあります。

それを避けるには、数量パネルの下にある「Cargo Editable」のチェックを外します。品目の仕様が黒に変わり、編集できないことを示します。



ツールバーの「ANB」表示チェックボックスで上のパネルを隠し、図を大きく表示できます。トラックバース（荷捌き場）で、ノートパソコンの画面で積付けプランを確認するときに便利です。



「Horizontal」（水平）と「Vertical」（垂直）の数値ボックスでは、積付けプランを見る角度を調整できます。「Next Block」（次のブロック）と「Next Stack」（次の積み山）のボタンを使うと積付けプランを段階的に見ることができ、隠れた部分を確認するのに役立ちます。

